

<b>授業科目名</b>	基礎看護学実習 (2300401)		
<b>時間割名</b>	基礎看護学実習 (70202)		
<b>時間割担当</b>	三毛美恵子 守本とも子 藤原 子 北島洋子 廣川聖子 大山真貴子 高橋里沙 出原弥和 高橋 晶 松村和 美 深澤 喜 石崎利 恵 柳瀬由 利子 堀川良 子		
<b>実施期</b>	後期	<b>単位数</b>	1 必修
<b>曜日・時限</b>	集中		

### 授業の目標・概要

看護の対象となる人々が生活する様々な環境を把握し、対象者のニーズについて考える。また、看護師のシャドーイングを行い、対象者とのコミュニケーション場面や援助場面の観察を通して、日常生活への理解を深め、看護の機能や役割について考える。看護場面の見学や実施（一部）を通して、看護の奥深さ、学習の必要性や重要性を理解し、学習者としての主体性を身につける。

### 学習の到達目標

1. 看護の対象となる人々が生活する環境を理解する。
  - 1) 外来・病棟・病室の見学をとおして、設備や機能を知る。
  - 2) 病院内における災害や事故防止対策を知る。
  - 3) 対象者にとっての人的な環境を知る。
  - 4) 保健医療チームにおける看護の役割を考える。
2. 対象者の1日の生活の概要を理解する。
3. 病院における看護職者の機能や役割を理解する。
4. 指導者や教員とともに、生活の援助技術を一部実施できる。
5. 主体的に行動し、自らの学習課題を発見する。

### 授業方法・形式

実習

### 授業計画

1. グループ編成 1グループは4名～5名の学生を編成する。
2. 実習の進め方
  - 1) オリエンテーション
    - (1) 学内オリエンテーション 服装・身だしなみ、態度について  
出欠席について  
健康管理について  
災害時（緊急事態発生時）の行動について
    - (2) 病棟オリエンテーション 実習担当者から、実習に必要なオリエンテーションを受ける。
  - 2) 事前準備 実習の目的・目標を熟読し、既習の学習内容を事前に学習しておく。
  - 3) 学習方法
    - (1) 実習の目的・目標を参考にし、自己の行動目標を考え実習に臨む。
    - (2) A4サイズの大学ノート（糸で綴じたもの）を使用し、事前に実習の準備を行う。
    - (3) ノートは実習場に携帯し、教員の指導・助言を得、必要に応じて活用する。
    - (4) 学習した内容はグループカンファレンスを通して共有する。
    - (5) 実習終了後には、提示されたテーマの課題レポートを提出する。
  - 4) 実習方法
    - (1) 実習は実習要項に従う。
    - (2) 実習は学内演習、実習、成果報告会から構成する。
    - (3) グループ毎にリーダーを決め、効果的な実習ができるようリーダーを中心に各メンバーが協力して行動する。
    - (4) 実習に必要な看護記録の閲覧は、実習施設の規定に従う。
    - (5) 看護師のシャドーイングや援助の実施を積極的に行う。
    - (6) 早期体験演習で体験した内容も想起しながら学習目標の達成を検討する。
  - 5) カンファレンス
    - (1) 実習における学びや疑問な点をカンファレンスで発言し、学習の共有を図る
    - (2) 学生がカンファレンスのテーマを決め進行する。
    - (3) 実習場または学内において必ず1時間程度のカンファレンスを行う。
    - (4) 時間、テーマ、場所の報告を行い、実習指導者へカンファレンスへの参加を依頼する。
    - (5) 運営は学生が主体的に行い、実習指導者、教員から指導や助言を得る。

### 成績評価の基準

実習中の学習態度、実習記録、自己学習状況、カンファレンスへの参加状況、自己評価、成果報告などを総合的に評価する。

### 授業時間外の課題

予習・復習をして授業に臨み、不明な点については積極的に質問してください。

## メッセージ

講義時間内にお伝えします。

## 教材・教科書

早期体験演習、基礎看護技術演習 で使用する教科書や授業で配布する資料を活用

## 参考書